

令和3年度 校内研究概要

1. 「確かな学力」の育成に向けて

(京都市教育委員会 令和3年度『学校教育の重点』第4章「生きる力」を育む15の取組 知「確かな学力」の育成より一部抜粋・要約)

① 学習指導要領で育成を目指す「資質・能力の三つの柱」

- 「生きる力」は、**知**「確かな学力」、**徳**「豊かな心」、**体**「健やかな体」から成る。「生きる力」を育むことを目指すには、①何を理解しているか、何ができるか：**知識及び技能**、②理解していること・できることをどう使うか：**思考力・判断力・表現力**、③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか：**学びに向かう力、人間性等**を偏りなく育成することが必要である。

① 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善

- 子どもが自己の将来の生き方を見据え、「SDGs」の理念も踏まえながら、「学校での学びと社会とのつながり」や「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる授業を目指し、常に効果的な指導方法や指導体制の工夫改善を図る。その際には、家庭環境にかかわらず、すべての子どもの可能性を最大限に伸ばす視点を大切に、取組を進める。(中略)小・中・小中学校においては、小中一貫教育の推進により緊密に連携し、本市独自の教育課程指導計画(京都市スタンダード)に基づく指導を徹底するとともに、各学校の学力向上プランの進捗を検証する。また、9年間を見通し、子どもの実態に応じて学力を伸ばす指導を充実する。

② 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実

- 各学年で指導すべき基礎的・基本的な知識・技能を、すべての子どもに確実に習得させる。知識・技能の習得にあたっては、既習の学習内容との関連付けを重視するとともに、知的好奇心に支えられ、実感を伴った理解となるよう、各教科等において、調べ学習、観察・実験、レポートの作成等の活動を適宜取り入れる。さらに、基礎的読解力や数学的思考力、情報活用能力など、学習の基盤となり、これからの時代を生きていく上でのもととなる資質・能力を確実に育成するため、教科等の横断を意識しながら、プログラミング教育などICT機器等を積極的かつ効果的に活用した学習活動を充実させる。(中略)各教科等においては、それぞれの目標を実現するための手立てとして、国語科で培う資質・能力と融合させて、記録・要約・説明・論述・発表・討論等の「言語活動」の、発達段階に応じた設定と内容の充実、また、学習課題(めあて、目標)に応じた「まとめ」と「振り返り」の徹底等を通じて、思考力・判断力・表現力等の効果的な育成を図る。文章の内容を正確にとらえて読むための基礎的読解力のほか、複数の情報の違いを見つけて対処するとともに、情報の質や信ぴょう性を評価したりできる能力の育成に向け、各教科等相互の関連や学年の系統性を重視し、教育課程や指導計画の改善を行う。学校図書館を、「学習・情報センター」、「読書センター」として各教科等の指導計画の中にも的確に位置付ける。

③ 探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現

- 教育課程全般にわたり、自ら課題や疑問点を設定し、調べ、解決しようとする過程を大切に探究活動を推進する。その際、こうした探究活動が次なる課題や疑問を生み出す契機となるなど、探究の過程が繰り返されるように留意する。また、子どもの学習意欲や知的好奇心、探究心を引き出し、主体的に学習に取り組む力を身に付けさせるために、自然体験や社会福祉体験、職場体験活動、ボランティア活動、生産活動(ものづくり等)といった学習活動を推進する。

④ グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成

- 小学校期においては、実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を通してコミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を育成することを目指す。低・中学年で、聞くこと、話すことの言語活動の充実を図った上で、高学年では聞くこと、話すことに加え、読むこと、書くことの言語活動の充実を図り、中学校期との円滑な接続を目指す。また、低学年では本市独自に英語活動を実施し、外国語学習への動機づけを高める。

⑤ LD等支援の必要な子どもの学力向上

- 個々の子どもの課題を明確にとらえ、行動面だけでなく学力面への支援を充実させる。そのために、「個別の指導計画」等を活用し、子どもの特性を全教職員が正しく理解して、規律ある生活習慣の確立、学びの集団づくり、子どもの特性や教科等の特質に応じたきめ細かな支援に基づく学力向上に向けた取組を推進する。

2. 学校教育目標

夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成
一人一人を徹底的に大切に、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める教育の推進

スローガン 『夢・輝き・やさしさ あふれる紫野』
・協働して主体的に学び合う子ども
・よりよい人生をたくましく生き抜く子ども
・共に生きる人権文化の担い手となる子ども

育てたい資質・能力 ※□印に重点化
・主体性 ・自律性 ・進取の気性
・コミュニケーション力 ・**情報活用能力**
・**探究力** ・**問題解決力** ・**運動能力**

3. 研究主題について

夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成
～言語能力・情報活用能力を活かしながら、
課題発見・解決型の探究活動に取り組むことを通して～

※ 主題設定の理由

今、日本社会は、急速なグローバル化や人工知能（AI）の飛躍的な進化等、社会の加速度的な変化や絶え間ない技術革新により、将来の予測が困難な時代を迎えている。新型コロナウイルス感染症の拡大でも、まさに「予測困難な時代」であることを実感した。こうした現状で、学校で学んだことが子どもたちの「生きる力」*1となるように、新学習指導要領*2の本格実施を迎えた（2020）。本校では過去2年間（2017-2018）、本格実施に向けて、国立教育政策研究所より総合的な学習の時間の研究指定を受け、新学習指導要領に沿って、探究の過程を充実するための研究を積み重ねてきた。子どもたちには、これからの社会がどんなに予測困難であっても、幸せを感じながら、多様な他者と共に明るい未来を創ってほしい。自分の思い描く「夢に向かって」ひたむきに努力し、「未来を切り拓く」（自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動することができる）子どもを育成したい。そのためには、「課題発見・解決型の探究活動」が最も効果的であると考え。さらに、郷土の伝統や文化についても探究することで、その大切さに気づき自他を尊重することができると考え。また、今年度より始まった「GIGA スクール構想」*3においても、ICTをツールとして効果的に活用する探究活動の重要性が強調されている。探究活動において、「言語能力・情報活用能力」の系統立てた育成も不可欠である。以上のような理由から、本主題を設定した。

- *1 「答えのない問いに対し、多様な他者と協働する中で、試行錯誤しながら、状況に応じた納得解を生みだし、実行・検証・再挑戦していく力」（京都市教育委員会「令和3年度学校教育の重点」）
- *2 「新学習指導要領」のポイント：社会に開かれた教育課程の下、カリキュラム・マネジメントを確立して学習効果の最大化を図り、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけではなく「どのように学ぶか」を重視し、3つの力（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育成する。
- *3 「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境」「これまでの教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」（文部科学省「GIGA スクール構想の実現へ」）

※ 研究主題を達成するための手立て

- ① 意欲的に学ぶ集団づくりに取り組むとともに、生活科・総合的な学習の時間及び生活単元を中心に、自ら課題や疑問点を設定し、調べ、解決しようとする過程を大切に探究活動を推進する。
- ② 観点別学習状況評価に基づく各教科の学習評価や総合的な学習の時間の目標や特質に応じた評価を適切に実施するとともに、「指導と評価の一体化」のさらなる充実を図る。（ループリックの活用）
- ③ 多様な学習形態や多様な学習活動を工夫し、主体的・対話的に問題解決を図る学習を進める。（ICTの活用）
- ④ 全国学Tや京都市小中一貫学習支援P等を十分活用し、結果分析を踏まえた授業改善を図りつつ、9年間を見通した指導の充実を図る。

※ 検証の視点・方法および手立て

検証の視点	主な手立て	検証の方法
社会生活について理解するとともに、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができたか	<ul style="list-style-type: none"> ●学習形態の工夫 心内対話・ペア対話・グループ・学級全体・学年全体・学校全体 ●学習活動の工夫 ICT活用・インタビュー・ポスターセッション・ディベート等 ●指導と評価の一体化 ループリックの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●授業研究 ●児童・保護者へのアンケートの整理・分析 ●指導者へのアンケートの整理・分析 ●学習の成果物（ふりかえり等）の整理・分析 ●全国学T等のデータの整理・分析 ●学校運営協議会において実践報告を行った上で、保護者・地域の皆様からの意見を聴取
実社会や実生活の中から課題を見だし、その解決に向け、思考・判断・表現しているか		
よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、積極的に社会に参画しようとする態度、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚などを高められたか		

4-a. 研究構想図 I

● 学校教育目標

夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成
一人一人を徹底的に大切に、
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める教育の推進

● スローガン

『夢・輝き・やさしさ あふれる紫野』
・協働して学び合う子ども
・よりよい人生をたくましく生き抜く子ども
・共に生きる人権文化の担い手となる子ども

● 育てたい資質・能力

・主体性 ・自律性 ・進取の気性 ・コミュニケーション力 ・情報活用能力 ・探究力 ・問題解決力 ・運動能力

確かな学力

研究主題

夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成

～言語能力・情報活用能力を活かしながら、課題発見・解決型の探究活動に取り組むことを通して～

① 社会とのつながり・接続を
実感できる教科教育

② 基礎的・基本的な
知識・技能の獲得

② 言語活動の充実

③ 探究活動を通じた
主体的・対話的で深い学びの実現

④ グローバル化時代に対応する
実践的英語力の育成

⑤ LD等支援の必要な
子どもの学力向上

研究教科・領域

生活科・総合的な学習の時間
及び生活単元学習

・校内研究 ・「MSP」
・紫野版 あしあと検定」の実施
・企業との連携
・学校運営協議会

・「チャレンジタイム」の実施
・「紫野版 漢字力検定」の実施
・「紫野版 あしあと検定」の実施

・校内研究
・「MSP」
・「紫野版 あしあと検定」の実施

・校内研究
・公開授業を通じた小小連携・小中連携
・「MSP」
・「紫野版 あしあと検定」の実施

・校内研究
・公開授業を通じた小小連携・小中連携
・「MSP」
・English shower
・小高交流英語活動

・校内研究
・公開授業を通じた小小連携・小中連携
・「紫野版 あしあと検定」の実施
・「MSP」

4-b. 研究構想図Ⅱ

●学校教育目標

夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成
一人一人を徹底的に大切にし、
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める教育の推進

●スローガン

『夢・輝き・やさしさ あふれる紫野』
・協働して学び合う子ども
・よりよい人生をたくましく生き抜く子ども
・共に生きる人権文化の担い手となる子ども

●育てたい資質・能力

・主体性 ・自律性 ・進取の気性 ・コミュニケーション力 ・情報活用能力 ・探究力 ・問題解決力 ・運動能力

●目指す教職員像

- ・教育に携わる自覚と誇りを持ち、
子どもの学びに最善を尽くす教職員
- ・人権教育・道徳教育の実践に取り組むなど、
一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ・健康教育・キャリア教育に取り組むなど、
子どもの可能性を最大限に引き出す教職員

3年目【現在】

- ・育成することを目指す
資質・能力 系統表 見つめ直し
- ・言語能力 系統表 見つめ直し
- ・情報活用能力 系統表 見つめ直し
- ・評価の観点に基づく
評価規準等の在り方について検討
(ルーブリック 見つめ直し)
- ・思考ツールを用いる等
授業展開をより工夫する
- ・主体的・対話的で深い学びを
実現する授業展開を目指す

「郷土」の文化・
歴史を通して育成



①社会とのつながり・接続を
実感できる教科教育

②基礎的・基本的な
知識・技能の習得

②言語活動の充実

教職員

2年目

- ・育成することを目指す
資質・能力 系統表 作成
- ・言語能力 系統表 作成
- ・情報活用能力 系統表 作成
- ・評価の観点に基づく
評価規準等の在り方について検討
(ルーブリック 作成)
- ・思考ツールを用いる等
授業展開をより工夫する
- ・主体的・対話的で深い学びを
実現する授業展開を目指す

●目指す学校像

- ・子ども・保護者・地域の
誰もが尊重される学校
- ・明日の登校を待ちわび、
子どもが生き生きと輝く学校
- ・保護者・地域と連携・協働して、
共に夢を支援する学校

③探究活動を通した、
主体的・対話的で深い学びの実現

④グローバル化時代に対応する
実践的英語力の育成

⑤LD等支援の必要な子どもの学力向上

1年目

- ・総合的な学習の時間の単元開発
- ・総合的な学習の時間の全体計画
の見つめ直し
- ・「関連単元配列表」の見つめ直し
- ・思考ツールを用いる等
授業展開をより工夫する
- ・主体的・対話的で深い学びを
実現する授業展開を目指す



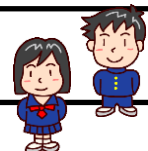
●目指す子ども像

- ・友達を大切にし、
共に支え高め合うやさしい子ども
- ・自ら学習し、
粘り強く探究するひたむきな子ども
- ・心身を鍛え、
なりたい自分へ成長するたくましい子ども

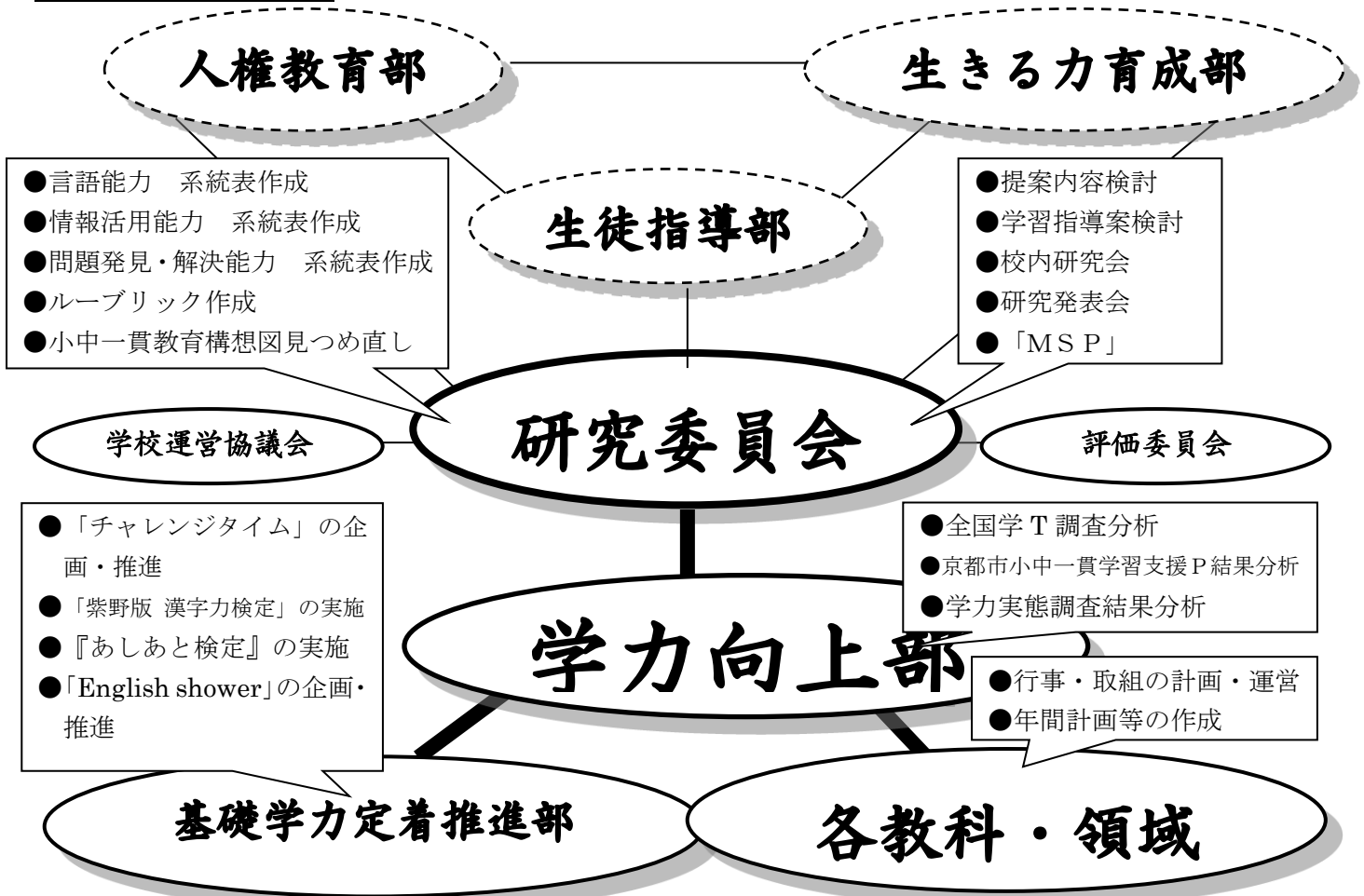
2019年
4月



子ども



5. 研究組織について



※ 研究委員会は、
校長・教頭・副教頭・教務主任・研究主任・研究副主任・各学年一名ずつの研究委員で構成されている。
拡大研究委員会は、研究委員に3～6年生の担任団を加えて構成されている。

※ 学力向上部は、
校長・教頭・副教頭・教務主任・研究主任・研究副主任・四教科主任 で構成されている。

6. 具体的な取組について

① 社会とのつながり・接続を実感できる教科教育

- 校内研究 ●「MSP」
- 「紫野版 あしあと検定」の実施 ●企業との連携
- 学校運営協議会において実践報告を行った上で、保護者・地域の皆様からの意見を聴取

※本校には OJT の一環として、本校若手・中堅教員が中心となって、自主的・自発的な学び合い活動ができるような場として、「紫野小学校スキルアッププログラム Murasakino Elementary School Skill Up Program (MSP)」がある。以下の5点に留意して企画・運営をしている。

- 全員、校内研究授業発表かMSP（授業又は講義）を行う。
- 公開授業を参観する担任の学級には、できる限り担任以外の教職員が入るようにする。
- MSPの指導案はロイロノートのプロット図で作成する。講義をする場合は資料を作成する。
- 6月・12月・2月を「公開授業月間」として、積極的に授業を公開する。
- 公開授業だけでなく、学級経営について交流する機会等を設け、総合的に指導力の向上を図る。

※新しい3学期制に移行した2018年度より、iv)については、次のように変更した。

6月を「公開授業月間（中堅・ベテラン教員中心）」、12月を「紫野版 授業実践力向上講座」、2月を「公開授業月間（若手教員中心）」とする。教科は自由。ICTをツールとして効果的に活用する。

② 基礎的・基本的な知識・技能の習得【英語教育部・基礎学力定着推進部と連携】

●「チャレンジタイム」の実施【10分】

- ※職朝は、(月)のみ実施。(ただし、臨時に開く場合がある。)
- ※学年の実態に応じて活動の工夫をする。ICTをツールとして活用することも可。
- ※毎週(水)はEnglish shower day。フッ化物洗口も、この時間に実施する。
- ※1年生については、学力・学習状況に応じて、実施時期を見極めるようにする。
- ※取組の成果を確かめ、よりよいものにしていくために、取組内容を共有していく。
- ※実施内容は以下のとおりである。

	月	火	水	木	金
8:40~	読書 (毎日一定の読書 時間をとることで も可)	音読・漢字 計算・聴写 各教科フラッシュ など	English shower チャンツ・ジング ル・ソング・絵 本・ゲームなど	音読・漢字 計算・聴写 各教科フラッシュ など	音読・漢字 計算・聴写 各教科フラッシュ など

●English songのチャレンジタイムでの活用

4月	THE ABC SONG	10月	HEAD, SHOULDERS, KNEES AND TOES
5月	Sunday Monday Tuesday	11月	If you're happy and you know it
6月	Musical Month	12月	Twinkle, Twinkle little star
7月	Bingo	1月	Sing a Rainbow
8・9月	London Bridge	2・3月	Edelweiss

●English shower day (水曜日)の実施

チャレンジタイム	English song+パワーポイントの活用・キーワードゲーム・チャンツ・本など
フッ化物洗口	English song (1分間バージョン F song) やチャンツ等を用いる
朝の会	台本を見ながら
	学習のあいさつ
給食時間	チャレンジタイムAで流れた歌を放送
帰りの会	台本を見ながら

- ※チャレンジタイムのEnglish songは1か月ごとに変えていく。
- ※歌詞をパワーポイントで英語教育部が用意する。
- ※フッ化物洗口の際に流れるF songは、1分間バージョンを英語教育部が用意する。
- ※段階的(あいさつ→司会→コミュニケーション)に取り組み、自信をもって自ら英語を使ったコミュニケーションを楽しもうとする素地・基礎となる資質・能力を育成することを目指す。
- ※参考資料を英語活動部が用意する。



朝の会。	
★姿勢を正しましょう。..	Sit up straight..
・今日が始まるよ！	Let's start today..
★今日は何曜日ですか。..	What day is it today?..
・水曜日です。..	→It's Wednesday..
・立ちましょう。..	Stand up, please..
★おはようございます。..	Good morning, everyone..
・おはようございます。..	→Good morning..
・座りましょう。..	Sit down, please..
★健康観察をします。..	How are you?..
・○○せんせい、おねがいします。..	○○せんせい, check please..
●今日の予定を教えてください。..	Please tell us today's schedule..
●今日も1日がんばろう。..	Let's do our best!
・はいえーい。..	→Yeah!
学習のはじめ。	
★姿勢を正しましょう。..	Sit up straight..
・○○の学習をはじめます。..	Let's start ○○ class..
●めあては、「～」です。..	Today's goal is 「めあて」..
●めあてを読みましょう。..	Let's read..
・さんはい。..	One, two,...
学習のおわり。	
★姿勢を正しましょう。..	Sit up straight..
●学習を終わります。..	That's all for today. Thank you..

給食。	
★給食はありますか。..	Do you have your lunch?..
・はい、いいえ。..	→Yes. / No..
・いただきます。..	イタダキマス。..
帰りの会。	
★姿勢を正しましょう。..	Sit up straight..
★今日、1日楽しかったですか。..	Did you enjoy today?..
★はい、いいえ。..	→Yes. / No..
●→○○が楽しかったです。..	→I enjoyed ○○..
●先生からの お話です。..	○○せんせい, please talk about today..
★気をつけて、帰りましょう。..	Take care..
★また明日も会いましょう。..	See you tomorrow..
・さようなら。..	Good bye, everyone..
・さようなら。..	→Good bye..
●じゃんけんぽん。..	Rock, Scissors, paper... One, two, three..
●あっちむいてほい。..	Look this way..

国語	Japanese	家庭科	home economics
書写	calligraphy	図工	arts and crafts
社会	social studies	音楽	music
算数	math	学活	classroom activity
理科	science	道徳	moral education
体育	P. E.	外国語	English

●「紫野検定（紫野版 漢字力及びあしあと検定）」の実施

- ※漢字力検定は、年度末に実施。カラーテストの漢字のまとめを代用する。
テストのコピーは用意しない。（事前に問題を見せない。）
チャレンジタイムや宿題で漢字力の定着を図る。
合格者（80%以上）には、認定証を渡す。
- ※検定結果は、センターサーバ内のデータを通じて、次の学年に引き継ぐ。
- ※「あしあと検定」は、嘉楽中学校・乾隆小学校と共通した取組。

③ 言語活動の充実

- 校内研究
- 「MSP」
- 「紫野版 あしあと検定」の実施
- 系統表を活用してカリキュラム・マネジメントする

④ 探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現

- 校内研究
- 公開授業を通じた小小連携・小中連携
※嘉楽中学校・乾隆小学校・本校の教職員が参加する小中合同研修会はもちろん、嘉楽中学校ブロック内において、交流の機会を充実させる。
- 「MSP」
- 「紫野版 あしあと検定」の実施

⑤ グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成

- 校内研究
- 公開授業を通じた小小連携・小中連携
- 「MSP」
- English song の活用
- English shower day（水曜日）の実施
段階的な取組（あいさつ→司会→コミュニケーション）
- 外国語に関わる掲示物の作成
- 小高連携

⑥ LD等支援の必要な子どもの学力向上

- 校内研究
- 公開授業を通じた小小連携・小中連携
- 「紫野版 あしあと検定」の実施
- 「MSP」
- 保・幼・小をつなぐ「スタートカリキュラム」の実施
※「スタートカリキュラム」とは、幼稚園や保育園（所）・認定子ども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基盤として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムのこと。
- 基本的生活習慣の確立に向けた取組
※右に示したのは、年度初めの懇談会時に保護者に内容を説明した後、配布する資料である。（懇談会を欠席した保護者には、翌日児童を通じて配布）

- ①朝の健康観察時、子どもたちに起床時刻等の確認
- ②年間2回、「生活しらべ」を実施
- ③学校だより・学年通信等で保護者の皆様に生活改善の呼びかけ

- 「個別の指導計画」の作成
- 通級指導の実施

◀「紫野版 あしあと検定」のねらい：詳細は別紙参照▶

【児童側】・児童がまとめた各教科の授業ノートのうち、優れたものを表彰、紹介することで、授業に臨む児童の意識や集中力を高めるとともに、児童の主体的に学ぶ意欲の向上につなげる。

【指導者側】・指導者が児童のノートづくりの様子を意識することで、構造的な板書づくりをすすめることができるようにする。

【小中一貫教育構想】・嘉楽中学校が、平成26年度から「あしあと検定」と称して、ノート検定を実施している。国立教育政策研究所の研究指定を受けて、成果を上げてきた。また、研究教科・領域が異なっても、同一中学校ブロックで共通して実施できる取組の一つとして考えている。

平成31年4月17日
保護者様
京都府立栗野小学校
校長 松下 誠太郎

基本的生活習慣の確立に向けた取組について

平瀬は本校の教育活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休息、睡眠が大切です。しかし、最近の子どもの生活を見ると、「よく体を動かさず、よく食べ、よく眠る」という従来の子どもにとって必要不可欠な基本的生活習慣が大きく乱れているようです。こうした**基本的生活習慣の乱れは、学習意欲や学力、気力の低下の原因の一つ**として指摘されています。この状況を受け、文部科学省は「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動を推進しています。本校でも、その趣旨に則り、今年度は、次のような取組を進めていきます。

①朝の健康観察時、子どもたちに起床時刻等の確認
②年間3回、「生活しらべ」を実施
③学校だより・学年通信等で保護者の皆様に生活改善の呼びかけ

本校で目指す生活モデルは、以下のとおりです。

スッキリ笑顔で「おはよう」あいさつ!

I：「早寝・早起き・朝ごはん」

- 早く寝る。（目安：⑧9時 ⑨9時半 ⑩10時まで）
- 朝7時までに起きる
- 朝ごはんを食べる。

II：テレビ・ゲーム（タブレット・携帯電話を含む）の時間を決める。

- 合計で1時間30分以内。

III：家での学習時間をしっかりと取る。

- 下は目安となる各学年の家庭学習時間です。（「宿題」・読書を含む。）
- 1・2年生は、30分程度。
- 3・4年生は、45分～1時間。
- 5・6年生は、1時間～1時間30分。
- 「宿題」・読書以外に自分の課題に合わせた自主学習をする。

7. 年間研修計画(R3.11月現在)

- 4月 5日(月) 今年度の校内研究の概要について検討 @研究委員会, 学力向上部【午後】
- 4月 7日(水) 教務・人権・生指・研究 各主任 研修日程調整【午後】
- 4月 8日(木) MSPについて検討 @研究委員会
- 4月 9日(金) 校内研究の概要及び年間計画 提案
総合的な学習の時間(単元構想・年間計画)について検討
- ※ 校内研究の希望日程を調査。メ切日は、4月16日(金)
- ※ 事前授業等により、担任が他学年および他学級の授業見学を希望する場合、できる限り、管理職をはじめ、7年の先生方に自身の学級に入っただけにする。
- ※ 今年度の学習指導案のフォーマットについても提案する予定。

- 生活科・総合的な学習の時間 理論研修会(その他の教科も配信中) ※総合ポータルサイト映像配信研修
- 総合的な学習の時間 授業実践力向上講座【いつでも】
- 生活科 授業実践力向上講座【いつでも】
- 6月17日(木) 総合支援教育研修・MSP①(3組)京都市総合C 和田英明専門主事
- 6月24日(木) 校内研究会①(総合:4年)
 - ・ロイロノート, m365の有効活用
 - ・チャレンジタイム取組共有
 - ・単元構想図交流
 - ・指導案の形式提案

- 8月23日(月) 校内研修会②事前研究協議(道徳:4-1)【15:45】特別訪問指導員 成實先生
- 8月24日(火) 校内研修会③事前研究協議(生活:2-2, 総合:6-2)【14~15:30】
京都市総合C 鍵村指導主事
- 8月 生活・総合的な学習の時間 指導講座【終日:任意】(講義・実践発表)

- 8月31日(火)MSP⑤(理科:柱谷先生)
- 9月 9日(木) 校内研究②(総合:6-2)京都市総合教育C 鍵村指導主事
- 9月16日(木) 道徳校内研修(4-1)京都市総合教育C 特別訪問指導員 成實孝之 先生
- 9月24日(金)ロイロおさわり会①(居澤)
- 9月30日(木)ロイロおさわり会②((株)ロイロ 代表取締役 COO 杉山竜太郎さん)
- 10月13日(水) 校内研究③(生活:2-2)京都市総合教育C 鍵村指導主事
- 11月4日(木) 英語教育校内研修・MSP②(授業:1-1, 講義:5-2)
- 11月12日(金) 同和問題指導研修・MSP④(社会:6-2)
京都市総合教育C 研究科 主席指導主事 牧野雅彦 先生
- 11月30日(火)主事相談会 生活・総合
- 12月14日(火)6年世界同時オンライン授業
- 12月中 各学年部 指導案検討
- 12月23日(木)研究委員会 指導案検討
- 冬 MSP③(音楽:2-1)
- 冬 MSP⑥(道徳:竹中先生)
- 冬 MSP⑦(国語:3-2)
- 冬 MSP⑧(総合:4-1)LINE entry
- 1月12日(水)校内研修会④・指導案共有
- 1月27日(木)校内研修会⑤・冊子帳合
- 2月 3日(木)支部研究発表会前日準備
- 2月 4日(金)支部研究発表会 低学年部・中学年部・高学年部 各1本
指導講評 光華女子大学 准教授 西 孝一郎先生, ファシリテータ (株)ロイロ代表取締役 COO 杉山竜太郎さん
- 3月17日(木) 校内研修会⑥ 研究 まとめ(年度末反省:翌年度に向けて)